

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%
保護者様: 2名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・テーブルの配置を工夫し、スペースの確保をするなどを行なっている。
- ・清潔を保てるように毎日掃除を行なっている。
- ・放デイと別の訓練室があるため、個別での支援が取り組みやすい環境になっている。

○業務改善

- ・ミーティングで意見を言い合い、常に改善を図っている。
- ・業務前ミーティングにて業務にて改善したいことがあるかの意見をお互い話し合っている。
- ・児発受け入れに伴い、動画などによる社内研修の受講を行う事によって職員の支援力向上に繋がっている。

○適切な支援の提供

- ・ミーティングで話し合い、プログラムの立案をチームで行えるようにしている。
- ・細かい質問項目の入ったアセスメントシートを用いて、児童の状況把握に努め職員で話し合い支援計画の作成に努めている。
- ・その日気づいたことはその日のうちに伝え、支援に繋がられるようにしている。
- ・児童受け入れ前の時間でミーティングを行い、それぞれの意見を話し合い改善に繋げるよう努力出来ていると思う。

○関係機関や保護者との連携

- ・11月より受け入れを開始している為、連携する機会がまだ持っていない。
- ・保護者の方から他療育施設での支援内容などの情報共有はしてもらえるよう努めている。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時や連絡帳等で丁寧に説明するよう心掛けている。
- ・契約時などに支援の事や事業所に関しての情報を丁寧に説明するよう努めている。

○非常時等の対応

- ・非常時の対応として、避難訓練を毎月1回実施している。
- ・身体拘束適正化や虐待防止に関しての研修を法人内で実施している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・『子どもの活動スペースが確保されていると思うか』『職員の配置数は適切だと思うか』などの設問には「わからない」といった回答が見られた。
- ・『生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか』という設問には全回答者様が「はい」とご回答いただき満足していただけている。

○適切な支援の提供

- ・『ニーズや課題が分析されたうえで、児童発達支援計画が作成されていると思うか』といった設問は肯定的意見も見られご満足いただけている事が分かる。
- ・『保育所や地域でほかの子どもと活動する機会があるか』という設問に対しては「わからない」「どちらともいえない」といった回答をいただいた。

○保護者への説明等

- ・事業所に関する説明や、日頃のこどもの状況の共有に関する設問では「どちらともいえない」といった回答が見られた為、分かりやすく伝える工夫が必要だと感じる。
- ・個人情報の取り扱いに関しては、ご満足いただけている。

○非常時等の対応

- ・『子どもの安全の確保が十分に行なわれたうえで支援が行われていると思うか』という設問に全回答者様から「はい」とご回答をいただき満足していただけている。
- ・必要な訓練が行われているかどうかに関しては「わからない」といった意見が見られた。

○満足度

- ・全ての設問に対し、「はい」とご回答をいただき満足していただけている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

2024年11月開始の為、なし

○改善できた点・まだ残る課題

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・児童が過ごす生活空間は肯定的意見が多く、満足していただけている。
- ・日頃の支援や活動プログラムについては放課後等デイサービスの児童と一緒にいるなどの取り組みもあり、支援に関してはご満足していただけている。
- ・スペースの工夫や業務改善などの話し合いを行なっている為、安全確保をした上での療育や支援の提供が行えている。

○改善点

- ・日頃の様子や子どもの状況を共有し共通理解するための工夫がより必要である。
- ・非常時の対応や事業所に関する説明を丁寧に行うよう心掛けているが、伝わっていない事やうまく周知が出来ていないことがわかるため、発信方法などの改善が必要であると感じる。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・事業所に関する情報や、日頃の支援を発信する手段としてブログの更新やニュースレター等を用いて、より分かりやすくお伝えする。
- ・保護者会や保護者参観といった機会を設定し、保護者の交流の場を設ける。
- ・非常時の対応や災害時対応に関する取り組みを増やし、お伝えする場を設ける。

○1年間で取り組む具体策

- ・ブログを月に1件以上更新を行うことで児童の普段の様子をお伝えする。
- ・保護者会、保護者参観といった形で保護者交流の機会を年1回以上設定し保護者同士の交流の場を設ける。
- ・避難訓練の実施と様子を連絡帳と送迎時にお伝えする。
- ・個別支援計画更新面談以外で、保護者会や家族支援など直接お会いできるタイミングでの保護者への情報共有の機会を設定する。